

ひろしまし やすだ  
広島市 保田家文書 仮目録

広島県立文書館

平成25年(2013)8月

凡 例

- 1 本目録には、広島市 保田家文書を掲載した。
- 2 目録の各項目は以下のとおり。

請求番号 本文書群の群番号(199603)と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1/1 199603 / 1 / 1

表 題 資料に原表題のあるものはそのまま採り、ないものは適宜付与し〔 〕書きで表記した。内容等で補記すべきものがあれば( )で補った。集合形態をした資料の内訳を示す場合には、頭に“○”を付けた。

年 代 資料に記された作成年月日を探り、推測した場合は( )書きで表記した。

作 成 資料に授受関係のあるものは で結んで表記した。多人数にわたるものは、適宜「他 名」と略記した。

形 態 資料の形態を記した。

数 量 資料の点数を記した。
- 3 文書の排列は請求記号順とした。
- 4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に付した。
- 5 本目録で使用している日本語文字のうち、JIS規格(JIS X 0208, 1997)に含まれないものは、*ぶ*(より)、*㊤*、*釦*である。これは、特殊な方法で表示してあるので、文字として検索すること、および、テキストとして抽出することはできない。本ファイルの利用にあたっては、その点に留意されたい。

## 【文書群概要】

### ひろしまし やすだ 広島市 保田家文書 (請求記号 199603)

広島市京橋町の豪商、保田家(縄屋分家「新宅」)に伝来した文書。

出所 保田家(縄屋分家「新宅」)

出所地名 広島城下新町組京橋町 / 広島区京橋町 / 広島市京橋町 / 広島市南区京橋町 [現在]

旧支配 広島藩領

役職等 広島城下新町組稻荷町西組・京橋町年寄, 広島第四百四十六国立銀行頭取, 広島銀行頭取など。

分量 22点(9巻, 5枚, 3包, 2綴, 1冊, 1袋, 1通) / データ件数 403件

収蔵までの経緯 平成8年(1996)5月22日, 原蔵者から代理人を通じて寄贈。原蔵者は保田家の資料を保管していたが, 広島銀行『創業百年史』編纂に当たり, 同行へ貸与した。編纂終了後, 原蔵者の所在が不明となったため, 返却されないまま広島銀行で保管され, 平成3年(1991)11月, 広島銀行「創業百年史」編纂資料(199019)の一部として, 他の資料とともに当館へ寄託された。この整理の過程で, 広島銀行の所蔵でないことがわかり, 所在が明らかになった原蔵者から改めて寄贈されることになった。

年代 広島城下絵図は寛永年間(1624~1644), それ以外は文政7年(1824)から昭和18年(1943)まで。

歴史(沿革/履歴等) 保田家(縄屋分家「新宅」)初代の七兵衛は, 本家5代目九左衛門義忠の子で, 天明5年に分家して醤油業を始め, 文化2年(1805)には広島城下新町組稻荷町西組年寄となった。2代目七兵衛, 3代目八十吉も京橋町年寄などに就任した。保田八十吉(1843~1919)は幕末から明治・大正にかけて広島を代表する豪商となり, 自身の利益にとらわれず, 宇品築港事業では築港費用募集の先頭に立って資金を集め, 生活困窮者の救済にも奔走するなどしたため, 各方面から感謝状や表彰を受けている。

内容 辞令・賞状類を貼り継いだ卷子, 頼家関係の卷子, 広島町の絵図, 保田家写真帳など。

関連資料 広島市・保田八十吉氏収集文書(199603), 安芸国広島城下京橋町・保田(義郎)家文書(199808), 広島市・木村恒氏旧蔵文書(200602)

参考文献 広島県立文書館平成17年度収蔵文書展『京橋町・保田家文書展 広島城下商家の活動と文化』, 広島銀行『創業百年史』(1979)

検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

(2013.9.24 記述/西村 晃)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
1	〔京橋縄屋文書〕 縄屋七兵衛宛の奉書・褒状・誉書 等を卷子仕立てにしたもの	(文政7.12.16~ 安政6.4.17)		卷子	1巻 (69通)
1/1	○〔京橋町縄屋東次郎稲荷町西組年 寄役奉書〕 端書に「新町組へ」とあり	(文政7)12.16	新町組	切紙	(1通)
1/2	○〔稲荷町西組年寄縄屋七兵衛東柳 町年寄兼役奉書〕	(文政9)2.25	新町組	切紙	(1通)
1/3	○〔東柳町・稲荷町西組年寄縄屋七 兵衛此度東柳町年寄兼役差免奉 書〕 端書に「新町組江」とあり	(文政11)11.24	新町組	切紙	(1通)
1/4	○〔東柳町年寄兼役中出精相勤候二 付褒美金百疋下賜書〕		稲荷町西組年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/5	○〔七月十五日夜平塚出火之節防方 等抜群立働心掛宜敷二付銀三両下 賜書〕	(天保3.7.)	稲荷町西組年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/6	○〔旧臘廿五日暁平塚出火之節火防 方何角手配り等致し候二付銀三両 下賜書〕	(天保5.正.)	稲荷町西組年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/7	○〔米価高直之砌町方一統難渋凌せ 方等之儀駈引振奇特二付誉書〕	(天保6.閏7.10)	稲荷町西組年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/8	○〔稲荷町西組年寄縄屋七兵衛京橋 町新愛宕町年寄転役奉書〕 端書に「新町組江」とあり	(天保7)正.9	新町組	切紙	(1通)
1/9	○〔先月廿七日西引御堂町出火之節 火防方指揮筋抜群力入二付誉書〕	(天保7.11.)	京橋町年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/10	○〔五組筆上・添役筆上格奉書〕 端書に「御奉行松野唯次郎様・薬師寺九郎様西御玄関二 而被仰付 天保七年申十二月十六日」とあり	(天保7.12.16)	(松野唯次郎・薬師寺九郎) 京 橋町年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/11	○〔米価高直之砌町方一統難渋二付 直下ケ売払米等奇特二付誉書〕 端書に「天保八年酉十二月」とあり	(天保8.12.)	縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/12	○〔金貳百疋下賜奉書〕 奥書に「天保八年酉十二月廿七日」とあり	(天保8.12.27)	五組年寄筆上添役・京橋町 年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/13	○〔稲荷町西組年寄縄屋七兵衛先月 十六日夜京橋損傾キ之節出精二付 誉書〕 端書に「新町組江」とあり	.7.6	新町組	切紙	(1通)
1/14	○〔京橋町・新愛宕町年寄縄屋七兵 衛稲荷町東組年寄当分兼役奉書〕 端書に「天保十壹庚子正月廿四日東組当分兼役 新町組へ」とあり	(天保11)正.24	新町組	切紙	(1通)
1/15	○〔京橋町・新愛宕町年寄縄屋七兵 衛稲荷町東組年寄当分兼役差免奉 書〕 端書に「新町組江」とあり	(天保11)12.15	新町組	切紙	(1通)
1/16	○口達(町新開御用銀之節貯置候銀子 永代上納方願出之趣奇特二付上達) 端裏書に「天保八年丁酉七月」とあり	(天保8)7.		切紙	(1通)
1/17	○〔御普請御用永代上限銀子差上奇 特二付十二人扶持・年頭御目見奉 書〕 端裏書に「天保八年丁酉七月」とあり	(天保8.7.)	縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/18	○覚(寸志永代上ケ銀六十貫目御銀奉行 中受手形受取)	天保12.2.	山下右仲・中井出衛・山田清 助・西山造酒・小西源六・諏 訪民次郎・松野唯次郎 御銀 方御扶持人縄屋七兵衛	豎紙	(1通)
1/19	○〔天満町出火之節火消方抜群出精 二付銀三両下賜書〕		稲荷町西組年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
1/20	○〔東川水掛り之義二付普請懸り役 (天保13.12.27) 勤勞二付褒美銀三十枚下賜書〕 奥書に「町御奉行松野唯次郎様・湊源太郎様 天保十三年壬寅十二月廿七日於西御玄関二」とあり	(天保13.12.27)	(松野唯次郎・湊源太郎) 御銀方御扶持人・年寄筆上添役・京橋町年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/21	○〔銀三貫八百七十目奉書〕 公用紙使用		御銀方御扶持人・年寄筆上添役・京橋町年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/22	○〔十月廿四日夜中島出火之節相働 (天保13.12.16) 候二付褒美銀五両下賜奉書〕 端書に「松野唯次郎様・湊源太郎様 天保十三年寅十二月十六日 西御玄関二おゐて」とあり	(天保13.12.16)	(松野唯次郎・湊源太郎) 京橋町年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/23	○〔綿改所頭取・筆上同格奉書〕 (天保14.6.23) 端書に「天保十四癸卯六月廿三日東御玄関二おゐて」とあり	(天保14.6.23)	縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/24	○〔綿座御役所詰奉書〕 公用紙使用			切紙	(1通)
1/25	○〔金式拾五兩外二五両下賜書〕 (弘化元.12.27) 端書に「天保十五年辰十二月廿七日於御玄関二 当暮弘化元年改元」とあり	(弘化元.12.27)	縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/26	○〔金拾兩外二銀拾枚下賜書〕 (弘化元.12.27) 端書に「天保十五年辰十二月廿七日於綿座御役所六会法方 当暮弘化元年改元」とあり	(弘化元.12.27)	縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/27	○〔諸色直段下ケ約メ方掛り申付 (弘化2.4.25) 精二付諸口十束下賜書〕 奥書に「御奉行松野唯次郎様・湊源太郎様 弘化貳年乙巳四月廿五日東御玄関二おゐて」とあり	(弘化2.4.25)	(松野唯次郎・湊源太郎) 綿改所頭取筆上・五組年寄筆上添役筆上格・京橋町新愛宕町年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/28	○〔御褒美金式拾五兩外二五両下賜書〕 (弘化2.極.26) 端書に「御奉行松野唯次郎様・湊源太郎様 弘化貳年乙巳極月廿六日 於西御玄関二御役所御褒美」とあり	(弘化2.極.26)	(松野唯次郎・湊源太郎) 縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/29	○〔濃州・勢州川々御普請御用銀差 (弘化2.10.22) 上候段奇特二付誉書〕 端書に「相原切紙写し 口達」, 端書に「御奉行湊源太郎様 弘化貳年巳十月廿二日西御玄関二而被為渡候」とあり	(弘化2.10.22)	(湊源太郎)	切紙	(1通)
1/30	○〔六会法方御褒美銀拾枚下賜書〕 (弘化2.極.24) 公用紙使用, 端書に「御勘定所御積方御下銀於綿座御役所二申渡有之 弘化貳年巳極月廿四日 六会法方御褒美 横田百蔵・森元忠八郎」とあり	(弘化2.極.24)	(横田百蔵・森元忠八郎) 縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/31	○〔明星院祈禱堂再建御用出精二付 (弘化3.8.9) 褒美百五十拾目下賜書〕 端書に「湊源太郎様・沢井善介様 加席森元忠八郎殿・岩室喜右衛門殿 弘化三年丙午八月九日於西御玄関二申渡 七兵衛四十才」とあり	(弘化3.8.9)	(湊源太郎・沢井善介) 縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/32	○〔金式拾五兩・外二五両下賜書〕 (弘化3.12.22) 端書に「弘化三丙午十二月廿二日 湊源四郎様・平野群次様」とあり	(弘化3.12.22)	(湊源太郎・平野群次) 縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/33	○〔残金預り手形引替方駈引骨折候 (弘化3.12.25) 二付金五両下賜書〕 公用紙使用, 端書に「弘化三年丙午十二月廿五日」とあり	(弘化3.12.25)	縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/34	○〔六会法貸附銀取立方并下ケ銀取 (弘化3.12.25) 引等骨折候二付銀八枚下賜書〕 公用紙使用, 端書に「弘化三年丙午十二月廿五日」とあり	(弘化3.12.25)	縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/35	○〔正月十二日金屋町出火之節防方 (弘化4.4.10) 抜群相働候二付褒美金式百疋下賜書〕 端書に「弘化四年未四月十日於西御玄関二御褒美頂戴 御奉行湊源太郎様」とあり	(弘化4.4.10)	(湊源太郎) 京橋町年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/36	○〔去月朔日立町出火之節防方抜群 (弘化4.4.10) 相働候二付褒美金式百疋下賜書〕 端書に「弘化四年未四月十日西御玄関二おゐて御褒美頂戴 御奉行湊源太郎様」とあり	(弘化4.4.10)	(湊源太郎) 京橋町年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/37	○〔金式拾五兩外二五両下賜書〕 (弘化4.12.27) 端書に「弘化四年丁未十二月廿七日」とあり	(弘化4.12.27)	縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/38	○〔御褒美金式拾五兩外二五両下賜書〕 (嘉永元.極.15) 奥書に「嘉永元戊申極月十五日正五ツ時 湊源太郎様・蒲生織之助様 於東御玄関二御褒美 森元忠八郎殿・長沢権吾殿 当年方改札二而被渡ル」とあり	(嘉永元.極.15)	(森元忠八郎・長沢権吾) 縄屋七兵衛	切紙	(1通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
1/39	○〔六会法掛ケ米代御下ケ残りを其儘上切り仕りたき旨申出候趣奇特二付誉書〕 端書に「嘉永二己酉年三月十九日西御玄関におみて 湊源太郎様・蒲生織之助様 加席岩室喜右衛門殿」とあり	(嘉永2.3.19)	(湊源太郎・蒲生織之助) 七兵衛	縄屋 切紙	(1通)
1/40	○〔御褒美金式拾五両下賜書〕 奥書に「於西御玄関御褒美 町御奉行湊源太郎様・蒲生織之助様 長沢権吾殿 嘉永二年己酉十二月十五日」とあり	(嘉永2.12.15)	(湊源太郎・蒲生織之助) 七兵衛	縄屋 切紙	(1通)
1/41	○〔金五両下賜書〕 公用紙使用、奥書に「嘉永貳年酉極月十五日」とあり	(嘉永2.極.15)	縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/42	○〔切手調方出精相勤二付御褒美金七両下賜書〕 公用紙使用、奥書に「嘉永貳年酉極月廿五日綿座御役所二而御褒美 長沢権吾殿申渡シ 此分御役所方之分」とあり	(嘉永2.極.25)	縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/43	○〔切手調方出精相勤二付御褒美金拾両下賜書〕 公用紙使用、奥書に「嘉永貳年酉極月廿五日綿座御役所二而御褒美 長沢権吾殿申渡シ 此分積方方之分」とあり	(嘉永2.極.25)	縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/44	○〔四月廿七日夜広瀬村新地出火之節火防相働二付誉書〕 端書に「嘉永三庚戌八月二日於御用場被申渡候 西御玄関用場江夫才領引連レ御受罷出候事」とあり	(嘉永3.8.2)		切紙	(1通)
1/45	○〔金式拾五両下賜書〕 奥書に「湊源太郎様・蒲生儀之助様 長沢権吾・長尾直太郎・永原哲蔵・村上実蔵 嘉永三年庚戌極月十五日於西御玄関ニ御褒美」とあり	(嘉永3.極.15)	縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/46	○〔金五両下賜書〕 公用紙使用		縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/47	○〔去夏洪水之節請組所々堤水越切損等防方出精且米麦等施行いたし候段奇特二付褒美銀五両下賜書〕 奥書に「町御奉行湊源太郎様・蒲生織之助様 嘉永四年辛亥三月十二日於東御玄関ニ」とあり	(嘉永4.3.12)	(湊源太郎・蒲生織之助) 綿改所頭取筆上同格御銀方御扶持人・五組年寄筆上格・京橋町新愛宕町年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/48	○〔浮過難洪者多く困窮袖乞致し候者へ施行致し候段奇特二付誉書〕 奥書に「蒲生織之助様・石田平五郎様 嘉永四年亥十月廿八日於東御玄関ニ」とあり	(嘉永4.10.28)	(蒲生織之助・石田平五郎) 綿改所頭取筆上御銀方御扶持人・五組年寄筆上添役・京橋町新愛宕町年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/49	○〔金式拾五両下賜書〕		縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/50	○〔金五両下賜書〕 公用紙使用		縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/51	○〔去月十五日夜京橋落損数人川中へ落込候節多人数助遣し抜群立働指揮厚力入候二付誉書〕 端書に「嘉永五年壬子七月十日於東御玄関 町御奉行蒲生織之助様・石田平五郎様 大年寄岩室喜右衛門殿加席」とあり	(嘉永5.7.10)	(蒲生織之助・石田平五郎) 綿改所頭取筆上御銀方御扶持人・五組年寄筆上添役・京橋町新愛宕町年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/52	○〔御褒美金式拾五両下賜書〕 奥書に「嘉永五年壬子極月十五日西御玄関呼出し例歳御褒美 町御奉行蒲生織之助様・石田平五郎様 御歩行長沢権吾殿 帖元長尾直太郎・永原哲蔵・村上実蔵」とあり	(嘉永5.極.15)	(蒲生織之助・石田平五郎) 屋七兵衛	切紙	(1通)
1/53	○〔金五両下賜書〕 公用紙使用		縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/54	○〔御褒美銀三枚下賜書〕 公用紙使用、奥書に「嘉永五年壬子極月廿五日 綿座切手御引替二付御勘定所積方方内々御褒美 御吟味役木谷三右衛門殿・滝戸幸蔵殿」とあり	(嘉永5.極.25)	(木谷三右衛門・滝戸幸蔵) 屋七兵衛	切紙	(1通)
1/55	○〔縄屋七兵衛退役之義差留、日勤差免候旨申達〕 公用紙使用、端書に「嘉永六年癸丑五月朔日改役長沢権吾殿」とあり	(嘉永6.5.朔)	縄屋七兵衛	切紙	(1通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
1/56	○〔金五両下賜書〕 奥書に「嘉永六年丑極月十五日朝五ツ時西御玄関御呼出し 町御奉行蒲生織之助様・石田平五郎様 御歩行目附長沢権吾 御帖元長尾直太郎・永原哲蔵・村上実蔵」とあり	(嘉永6.極.15)	(蒲生織之助・石田平五郎) 縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/57	○〔金貳百疋下賜書〕 公用紙使用		縄屋七兵衛	切紙	(1枚)
1/58	○覚(金請取証) 公用紙使用	嘉永6.12.20	御軍方 縄屋七兵衛	切紙	(1枚)
1/59	○〔綿座御役所詰縄屋七兵衛退役歎 出候趣聞届差免奉書〕 端裏書に「安政貳年乙卯十二月廿三日用場呼出し」とあり	(安政2.12.23)	綿座御役所詰縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/60	○〔数年来役方厚力入相勤候二付金 式百疋下賜書〕 端書に「安政貳年乙卯十二月廿七日東御玄関御呼出し 町御奉行蒲生織之助様・菅平角様 被仰渡候」	(安政2.12.27)	綿改所頭取筆上同格御銀方御扶持人・五組年寄筆上添役・京橋町新愛宕町年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/61	○〔五組年寄筆上奉書〕 奥書に「安政三丙辰正月廿八日於東御玄関」とあり	(安政3.正.28)	綿改所頭取筆上同格御銀方御扶持人・五組年寄筆上添役・京橋町新愛宕町年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/62	○〔酒屋筆頭奉書〕	安政3.正.28		切紙	(1通)
1/63	○〔山口町年寄兼役奉書〕 奥書に「安政三丙辰正月廿八日」とあり	(安政3.正.28)	綿改所頭取筆上同格御銀方御扶持人・五組年寄筆上・京橋町新愛宕町年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/64	○〔壱本木鼻中洲取除方諸入用普請 方心配駈引いたし候段奇特二付書〕 端書に「町御奉行今村文之助様・川崎鹿之助様 安政六年己未四月十七日御役所江御呼出」とあり	(安政6.4.17)	(今村文之助・川崎鹿之助) 綿改所頭取筆上同格御銀方御扶持人・五組年寄筆上・山口町京橋町新愛宕町年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/65	○〔金三両下賜奉書〕 公用紙使用			切紙	(1通)
1/66	○〔御褒美金三百疋下賜書〕 「東御玄関五ツ時呼出し 嘉永七年甲寅極月十五日御褒美」とあり	(安政元.極.15)	縄屋七兵衛	切紙	(1通)
1/67	○〔御用二付明廿五日朝六ツ半時出勤方通達〕	.2.24	用場 縄屋七兵衛殿	切紙	(1通)
1/68	○口達(寸志銀差上方願出候趣奇特二付上達)			切紙	(1通)
1/69	○口達(異国船防禦向之義二付御用銀差上候段奇特二付書写) 端書に「安政貳年乙卯三月十二日御書附写シ 町御奉行蒲生織之助様 御用銀拾貫目差出此節御壱人 七兵衛 四十九才」とあり	安政2.3.12	(蒲生織之助 七兵衛)	切紙	(1通)
2	玄徹様分			卷子	1巻 (11通)
2/1	○〔当夏洪水之節出精相働候二付褒美銀貳両下賜書〕		京橋町与頭縄屋七兵衛	切紙	(1通)
2/2	○〔銀貳拾目下賜書〕		縄屋七兵衛	切紙	(1通)
2/3	○〔去夏洪水之節水難者助情奇特二付書〕		縄屋七兵衛	切紙	(1通)
2/4	○〔当秋東照宮通り御祭礼之節町方 寄附之石引台為見合差出候〕	(文化12)	稻荷町西組年寄縄屋七兵衛	切紙	(1通)
2/5	○〔東照宮通り御祭礼掃除等二付触書写〕 -5~11は長大な東照宮祭礼一件文書を2分して卷子の上下2段に張ったものか	(文化12).8	(植木)直大夫・(寺田)源蔵 五組	切継紙	(1通)
2/6	○〔東照宮通り御祭礼御通り筋立砂 等二付触書二通写〕	(文化12).8	五組	切継紙	(1通)
2/7	○覚(東照宮通り御祭礼二付町役人出勤方申達)	(文化12).8	五組	切継紙	(1通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
2/8	○覚(東照宮通り御祭礼ニ付町中立番・火用心見廻り方申達)	(文化12) 8		切継紙	(1通)
2/9	○〔郡方より通り御祭礼拝見ニ罷出候儀差留方申達〕	(文化12) 8		切継紙	(1通)
2/10	○覚(東照宮通り御祭礼中作法等ニ付触書)	(文化12)		切継紙	(1通)
2/11	○〔往来飛脚脇道通り筋覚及び神輿昇掛け声ニ付申達〕	(文化12) 8	五組	切継紙	(1通)
3	諸名家書翰			卷子	1 卷 (10通)
3/1	○倉成善司書状	. 6 .21	倉成善司 頼弥太郎様	切紙	(1通)
3/2	○樺島勇吉書状	. 6 .24	樺島勇吉 頼弥太郎様	切紙	(1通)
3/3	○赤崎源助書状	. 6 .25	赤崎源助 頼弥太郎様	切紙	(1通)
3/4	○古賀庫助書状	. 7 .21	古賀庫助 頼弥太郎様	切紙	(1通)
3/5	○源助書状	. 2 .29	源助 弥太郎様	切継紙	(1通)
3/6	○大田平次郎書状	. 6 .21	大田平次郎 頼弥太郎様	切継紙	(1通)
3/7	○寺島成蔵書状	. 6 .25	寺島成蔵 頼弥太郎様	切継紙	(1通)
3/8	○柴邦彦書状	. 4 .12	柴邦彦(柴野栗山) 千秋(頼春水)仁兄	切紙	(1通)
3/9	○邦彦書状	. 5 .20	邦彦 千秋仁兄	切継紙	(1通)
3/10	○武居次郎左衛門書状	.正.26	武居次郎左衛門 杏坪頼先生	切継紙	(1通)
4	諸名家書翰			卷子	1 卷 (8通)
4/1	○某書状 前後欠	.10. 9		切紙	(1通)
4/2	○口上 後欠		柴田鍋之丞 頼弥太郎様	切紙	(1通)
4/3	○中井善太書状	. 3 . 7	中井善太(竹山) 頼弥太郎様・頼千齡(春風)様・頼万四郎(杏坪)様	切継紙	(1通)
4/4	○赤松鳴書状	.11. 7	赤松鳴 小川君	切継紙	(1通)
4/5	○中井徳二書状	. 2 .15	中井徳二(履軒) 三浦安貞(梅園)様	切紙	(1通)
4/6	○若槻幾斎書状	. 3 .27	若槻幾斎 頼弥太郎様	切継紙	(1通)
4/7	○頼弥太郎書状	.正.21	頼弥太郎 恵美三圭様	切継紙	(1通)
4/8	○頼弥太郎書状	.極.19	頼弥太郎 野沢為五郎様	切紙	(1通)
5	頼家書翰 頼弥太郎(春水)外宛の書翰9通を卷子に仕立てたもの			卷子	1 卷 (8通)
5/1	○頼春水書状 端書に「本書無事」とあり,付箋「頼春水先生」あり	. 6 .27		切紙	(1通)
5/2	○頼春水書状 端書に「留守へ無事」とあり,付箋「頼春水先生」あり	. 9 .22		切継紙	(1通)
5/3	○頼春風書状 付箋「頼春風先生」あり	. 3 . 6	春風 徳太郎(山陽)様・余一(聿庵)様	切紙	(1通)
5/4	○頼春水書状 付箋「頼春水先生」あり	. . 7	同人 頼弥太郎留守	切紙	(1通)
5/5	○頼久太郎書状 付箋「山陽先生」あり,後欠		久太郎 家大人(春水)様	切紙	(1通)
5/6	○頼久太郎書状 付箋「山陽先生」あり,後欠	.10. 8	久太郎 家大人(春水)様	切紙	(1通)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
5/7	○哥書状 付箋「余一八事庵モ事 哥ト八女ノ名ナレ共誰ナルヤ」あり	.26	哥 余一(事庵)殿	切紙	(1通)
5/8	○母書状 付箋「母トアリ 山陽先生ノ夫人ナリ」あり	.うつき.15	母 余一殿	切紙	(1通)
6	褒状并公文 第壹 保田八十吉への褒状・公文・書翰等を卷子仕立てにしたもの、題箋なし(複製資料の写真には題箋が写っている)	(安政3~明治27)		卷子	1巻 (96 通,3 枚)
6/1	○口達(異国船防禦向御用銀永代上ケ 方願出之儀奇特ニ付上達) 端書に「安政三丙辰三月廿八日悴八十吉東御玄關江只今罷出候様用場方直達有之、即刻召連罷出、此御書附町御奉行蒲生織之助様御誂被遊、加席岩室喜右衛門殿取次」とあり	(安政3.3.28)		切紙	(1通)
6/2	○覚(寸志永代上ケ銀六拾貫目奉行申請 取)	安政5.6.	小出左平太・熊谷平司・西村保五郎・湯川守衛・永田丹解 縄屋八十吉	豎紙	(1通)
6/3	○[異国船防禦向御用銀永代上限ニ 付拾式人扶持・年頭御目見奉書] 端書に「安政三年丙辰五月十七日御銀方被仰附、町御奉行御主人蒲生織之助様、大年寄岩室喜右衛門殿加席」とあり	(安政3.5.17)	縄屋八十吉	切紙	(1通)
6/4	○[御礼御願申上方相調候ニ付申渡] 端書に「新町組江」とあり	.5.	御銀方御扶持人縄屋八十吉	切紙	(1通)
6/5	○[父七兵衛之御扶持方下し置かれ 御銀方御用相調候旨奉書] 端書に「安政六年己未九月十二日 町御奉行 加席岩室喜右衛門殿」とあり	(安政6.9.12)	御銀方御扶持人縄屋八十吉	切紙	(1通)
6/6	○縄屋新宅書状 (安政6).9.13	(安政6).9.13	東概屋様・平野屋御本家様・同御新宅様・岩室様・室屋御新宅様・茶屋様・佐々木様・はり概屋様・油屋町野上屋様	切紙	(1通)
6/7	○[当町入津塩引受所申付候ニ付心 得方申達書] 端書に「入津塩引受 安政六年己未九月十七日 於御用場被仰附候事 新町組江」とあり	安政6.9.16	京橋町縄屋八十吉	切紙	(1通)
6/8	○[綿座御役所へ出合方申達] 公用紙使用	(安政6).9.18	岡田集介外4名 縄屋八十吉殿	切紙	(1通)
6/9	○[当町入津塩引請所亡父七兵衛通 り心得方申達書] 公用紙使用	(安政6).9	綿座御役所 縄屋八十吉	切紙	(1通)
6/10	○[古銅八貫六百目請取] 奥書に「文久元年酉」とあり	(文久元).3.15	彦右衛門 縄屋八十吉殿	切紙	(1通)
6/11	○[稻荷町西組年寄役奉書] 端書に「町御奉行川崎鹿之助・筒井極人様 大年寄岩室喜右衛門殿方申渡候事」とあり	(文久3).6.	御銀方御扶持人京橋町縄屋八十吉	切紙	(1通)
6/12	○[用場へ出頭方申達]	(文久3).6.17	用場 縄屋八十吉様	切紙	(1通)
6/13	○[去々秋以来米價格外高直ニ付施 行致候段奇特ニ付書] 端書に「米相場計高直之節残式百式拾目位其外裏借家之者程へ壱人へ壱日五勺ツ、遣ス 文久式年戌三月廿日東御役所ニ於て御奉行川崎鹿之助様・筒井極人様 加席岩室喜右衛門殿」とあり	(文久2).3.20	京橋町縄屋八十吉	切紙	(1通)
6/14	○口達(御国恩寸志銀永代上ケ方聞届 ニ付)			切紙	(1通)
6/15	○[西御役所へ出頭方申達]	.5.27	用場 縄屋八十吉殿	切紙	(1通)
6/16	○覚(寸志永代上ケ銀六拾貫目御銀奉行 申請手形受取)	慶応元.6.	小笠原岩次郎・村越孫六・満田九郎左衛門・坂英之進・薬師寺小兵衛・西村保五郎 縄屋八十吉	豎紙	(1通)
6/17	○[国恩寸志永代上ケ銀差上奇特ニ 付拾式人扶持奉書] 端書に「文久三年癸亥七月二日被仰渡候事 町御奉行様川崎鹿之助様・筒井極人様 御掛り御主人之事 加席岩室喜右衛門殿」とあり	(文久3.7.2)	御銀方扶持人縄屋八十吉	切紙	(1通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量	
6/18	○口達(御国恩寸志金永代上ケ方聞届ニ付) 端書に「文久三年癸亥極月廿七日被仰渡候事 町御奉行川崎鹿之助様 岩室喜右衛門殿加席」とあり	(文久3)極.27			切紙	(1通)
6/19	○〔西御役所へ出頭方申達〕	(文久3)12.27	用場 縄屋八十吉様		切紙	(1通)
6/20	○覚(寸志永代上ケ金三千五百両御銀奉行申請手形受取)	慶応元.6.	小笠原岩次郎・村越孫六・満田九郎左衛門・坂英之進・薬師寺小兵衛・西村保五郎 縄屋八十吉		縦紙	(1通)
6/21	○〔国恩寸志永代上ケ金差上奇特ニ付四拾式人扶持・永代座順銀札元次・苗字御免・生涯帯刀御免奉書〕 端書に「文久三年癸亥極月廿九日被仰付 町御奉行川崎鹿之助様 加席岩室喜右衛門殿」とあり	(文久3)極.29	御銀方扶持人・稲荷町西組年寄縄屋八十吉		切紙	(1通)
6/22	○〔先般御参集之砌用向出精相勤候ニ付誉書〕 端書に「慶応元丑年」とあり	(慶応元)			切紙	(1通)
6/23	○〔凱旋軍隊歓迎之際利便ヲ与ヘラレタル段感謝状〕	明治29.9.29	広島市歓迎会長伴資健 保田八十吉殿		一紙	(1通)
6/23	○〔先般御参集砌下陣引受心得宜ニ付銀式両下賜書〕	(慶応元)	座順銀札元次・御銀方御扶持人・稲荷町西組年寄保田八十吉		切紙	(1通)
6/24	○〔南叡会設立賛助金参円寄附ニ付感謝状〕 「南叡会」賞状用紙	明治29.10.15	南叡会会長桜井能監		一紙	(1通)
6/24	○覚(西口御窮民救助金式両受取) 公用紙使用	卯(慶応3)正.19	林嘉右衛門		切紙	(1通)
6/25	○口達(御国恩寸志金永代上ケ方願出奇特ニ付)				切紙	(1通)
6/26	○覚(永代上ケ金千五百両受取仮証文)	寅(慶応2)6.1	御勘定所積方 保田八十吉		縦切紙	(1通)
6/27	○〔国恩寸志永代上限り金・小銃差上奇特ニ付拾八人扶持・生涯町大年寄次奉書〕		永代銀札元次・苗字御免・生涯帯刀御免・御銀方扶持人 保田八十吉		切紙	(1通)
6/28	○〔生涯町大年寄役次被仰付ニ付年寄役御免奉書〕 端書に「新町組江」とあり	.12.29	稲荷町西組年寄保田八十吉		切紙	(1通)
6/29	○〔諸願等身前ニ懸り候儀八手元へ差出方奉書〕 公用紙使用		保田八十吉		切紙	(1通)
6/30	○〔開地御用掛奉書〕 公用紙使用	.2.14	「市政局」(印) 保田八十吉		切紙	(1通)
6/31	○覚(金札百弍拾両受取仮証文) 公用紙使用	.9.11	会計局御銀方 保田八十吉		縦切紙	(1通)
6/32	○〔市務御役所へ出頭方通知〕 公用紙使用	.5.晦	市務係大属 保田八十吉		切紙	(1通)
6/33	○〔巳年凶作救済献米奇特ニ付軸物一幅下賜書〕	辛未(明治4)5.晦	広島藩庁 永代銀札元次・生涯町大年寄次・銀方扶持人 保田八十吉		切紙	(1通)
6/34	○〔帯刀禁止ニ付通知〕	辛未(明治4)12.	「民事」(印) 永代銀札元次・生涯町大年寄次・銀方扶持人 保田八十吉		切紙	(1通)
6/35	○〔廿二日出頭方通知〕 宛名以外は印刷,封筒「庶務課 保田八十吉殿」あり	明治7.6.20	広島県 保田八十吉		一紙	(1通)
6/36	○〔学資金弍拾六円差出方奇特ニ付賞品下賜書〕	明治7.6.22	広島県 保田八十吉		一紙	(1通)
6/37	○〔先般拝賜之御盃渡し候ニ付当課へ出頭方通知〕 「広島県」罫紙使用	明治7.8.29	庶務課 保田八十吉		罫紙	(1通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
6/38	○〔礼服装出頭方通知〕 宛名と年月日以外は印刷, 封筒「庶務課 保田八十吉殿」あり	明治 7.9.25	広島県 保田八十吉	一紙	(1通)
6/39	○〔広島鎮台出火之際火防方殊勝二付賞状〕	明治 7.9.27	広島県 保田八十吉	一紙	(1通)
6/40	○〔礼服装出頭方通知〕 宛名以外は印刷	明治 8.11.24	広島県 保田八十吉	一紙	(1通)
6/41	○〔木盃壺目録〕			一紙	(1通)
6/42	○〔小学校建築費金五拾円寄附奇特二付賞品下賜書〕	明治 8.11.	広島県 保田八十吉	一紙	(1通)
6/43	○〔起業公債募集掛辞令〕	明治11.7.2	第一大区会議所 保田八十吉	一紙	(1通)
6/44	○〔広島区内貧民へ虎列刺防禦施与金拾五円差出候段奇特二付賞品下賜書〕	明治13.1.24	広島県 保田八十吉	一紙	(1通)
6/45	○〔貧民へ虎列刺予防禦施与金寄附ノ賞状回送二付県庁宛受書差出方通知〕 宛名以外は印刷, 封筒「広島区役所 保田八十吉殿」あり	明治13.2.	広島区長中尾正名 保田八十吉	一紙	(1通)
6/46	○〔木盃一個目録〕			一紙	(1通)
6/47	○〔招魂社再建費金壺円五拾銭寄附奇特二付賞状〕	明治14.9.30	広島県 保田八十吉	一紙	(1通)
6/48	○取締役当撰通知書(株主總會撰挙ノ結果投票多数二付)	明治15.1.15	広島第四十六国立銀行 保田八十吉殿	罫紙	(1通)
6/49	○浅野家家従書翰(両公子紅葉館へ御招待二付礼品贈与) 封筒(表)「浅野家家従 数寄屋河岸対鶴楼二而保田八十吉殿」(裏)「明治十六年五月八十吉上京之節旧知事浅野公ヨリ紅白黄洋紙、扇子五本、直彦翁画頂戴ス」あり	(明治16).5.10	浅野家家従 保田八十吉殿	切継紙	(1通)
6/50	○〔芸備米麦外九品共進会開設ノ功勞トシテ木盃壺個授与状〕	明治18.12.1	広島県 保田八十吉	一紙	(1通)
6/51	○〔明治十七年八月廿五日暴風海嘯被害ノ広島窮民救助金五拾銭寄附奇特二付賞状〕 封筒(表)「保田八十吉殿 暴風海嘯ノ砌窮民救助ノ褒賞廿日 広島区金屋町戸長役場」あり	明治18.12.14	広島県 広島県安芸国広島区 広島京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/52	○〔広島区役所修繕費金貳円五拾銭寄附奇特二付賞状〕 封筒(表)「保田八十吉殿 広島区役所修繕費寄附 貳拾五号」(裏)「金屋町戸長役場」あり	明治18.12.23	広島県令千田貞暁 広島県安芸国広島区広島京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/53	○委嘱状(広島区商工会名誉会員)	明治18.12.26	広島県広島区長栗原幹 保田八十吉殿	一紙	(1通)
6/54	○取締役当撰通知書(株主定時總會撰挙ノ結果投票多数二付)	明治19.1.15	広島第四十六国立銀行 保田八十吉殿	罫紙	(1通)
6/55	○〔芸備米麦外九品共進会会費金貳円九拾三銭寄附奇特二付賞状〕	明治19.12.15	広島県知事千田貞暁 広島県安芸国広島区広島京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/56	○〔宇品築港費金三百円寄附奇特二付賞品トシテ木杯下賜状〕	明治19.12.27	広島県知事千田貞暁 広島県安芸国広島区広島京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/57	○〔広島京橋町虎列刺予防費トシテ金六拾貳円寄附奇特二付賞状〕	明治20.3.29	広島県知事千田貞暁 広島県安芸国広島区広島京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/58	○防海費献納願(金壺千円)	明治20.9.	広島県広島区京橋町保田八十吉・広島区長栗原幹 宮内大臣伊藤博文殿	一紙	(1通)
6/59	○〔防海費献納受理書〕 「宮内省内事課第一四式六号」印あり	明治20.9.28	宮内大臣土方久元	一紙	(1通)
6/60	○〔海防費献納領収証廻送二付下付書〕 「広島区役所」罫紙使用	明治20.9.28	広島区長栗原幹 京橋町保田八十吉	罫紙	(1通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
6/61	○証 (防海費献納金額収証) 「第三百八拾七号」	明治20.11.21	大蔵省金庫局長小林好愛 保田八十吉殿	一紙	(1通)
6/62	○〔防海費献納褒章下賜ニ付頭方通知〕	明治21.1.24	広島区長栗原幹 京橋町保田八十吉	罫紙	(1通)
6/63	○〔防海費献納ニ付銀製黄綬褒章拝受領票及び褒賞届出心得・黄綬褒章佩用式〕 三百九十二号,印刷	明治21.1.24	内閣賞勲局	一紙	(3枚)
6/64	○〔宇品港へ通スル皆実村新開開鑿ニ付畑地壹畝拾五歩寄附奇特ニ付賞状〕	明治20.12.8	広島県知事千田貞暁 広島県安芸国広島区広島京橋町保田クメ	一紙	(1通)
6/65	○〔広島棧橋株式会社取締役当撰書〕	明治22.1.4		一紙	(1通)
6/66	○〔広島小学区教育品展覧会開設費トシテ金貳円寄附奇特ニ付賞状〕	明治21.12.28	広島県知事千田貞暁 広島県広島区広島京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/67	○〔広島区ヨリ仁保島字本浦へ通スル字大道路開鑿費金壹円寄附奇特ニ付賞状〕	明治22.2.25	広島県知事千田貞暁 広島県安芸国広島区広島京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/68	○〔広島区役所建継費トシテ金貳拾六円六銭九厘寄附奇特ニ付木盃壹個下賜状〕	明治22.4.8	広島県知事千田貞暁 広島県安芸国広島市字京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/69	○〔政友会常議員囑托状〕	明治22.6.23	政友会 保田八十吉	一紙	(1通)
6/70	○三木達書翰 (広島市助役撰拳ニ付袋町同進社へ参会依頼)	明治22.7.13	市会議長三木達 市議員保田八十吉殿	罫紙	(1通)
6/71	○〔第二回関西聯合府県共進会場建築費トシテ金拾円寄附奇特ニ付木盃壹個下賜状〕	明治22.12.2	広島県知事千田貞暁 広島県安芸国広島市字京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/72	○委嘱状 (広島商工会議所会員)	明治23.7.15	広島市参事会広島市長伴資健 保田八十吉殿	一紙	(1通)
6/73	○鍋島幹書翰 (海軍兵学校へ御巡行ニ付御襲蔵之品借用ノ件挨拶)	明治23.4.25	鍋島幹 保田八十吉殿	一紙	(1通)
6/74	○〔東練兵場開場式挙行ニ付案内及び式次第〕	明治23.8.20	第五師団長野津道貫 保田八十吉殿	一紙	(2通)
6/75	○証 (神苑会設立金拾円寄附ニ付会員証牌交付証)	明治23.9.20	神苑会副頭取渡辺洪基・同会会頭吉井友実 保田八十吉殿	一紙	(1通)
6/76	○〔厳島町御手洗川石橋増築費トシテ金五十五円寄附奇特ニ付木盃壹個下賜状〕	明治23.12.8	広島県知事鍋島幹 広島県安芸国広島市字京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/77	○〔広島市窮民救助費トシテ金五拾円寄附奇特ニ付木盃壹個下賜状〕	明治23.12.10	広島県知事鍋島幹 広島県安芸国広島市字京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/78	○〔広島商業会議所会員選挙会当選通知〕 広島市役所罫紙使用	明治24.3.25	広島市長伴資健 保田八十吉殿	罫紙	(1通)
6/79	○〔明治二十三年広島市窮民救済ノ為メ金百五拾参円寄附奇特ニ付木盃壹個下賜状〕	明治24.8.28	広島県知事鍋島幹 広島県安芸国広島市字京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/80	○〔明治二十二年仁保島字丹那浦ヨリ皆実村ニ接スル道路開鑿及架橋費金拾五円寄附奇特ニ付木盃壹個下賜状〕	明治24.10.5	広島県知事鍋島幹 広島県安芸国広島市字京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/81	○〔明治廿四年竹屋村里道改修費金壹円五拾銭寄附奇特ニ付賞状〕	明治25.3.21	広島県知事鍋島幹 広島県安芸国広島市字京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/82	○献納米粟 (段原村東浦・大須賀村二葉ノ里壹畝歩ニテ作付ノ調進順序添記)	明治25.11.29	広島市京橋町保田八十吉	一紙	(1通)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
6/83	○〔明治廿四年岐阜県下震災被害者救恤金六円八拾貳銭余寄附奇特二付賞状〕	明治26.2.1	岐阜県知事小崎利準 広島県 広島市京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/84	○〔皆実村ヨリ仁保島村へ達スル里道改修費金拾参円寄附奇特二付木盃壹個下賜状〕	明治26.10.30	広島県知事鍋島幹 広島県安芸国 広島市字京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/85	○〔神苑会広島県委員囑託状〕	明治26.11.6	神苑会総裁熾仁親王 保田八十吉	一紙	(1通)
6/86	○〔皆実村ヨリ仁保島村へ達スル里道改修費へ烟五歩式合寄附奇特二付賞状〕	明治26.10.30	広島県知事鍋島幹 広島県安芸国 広島市字京橋町保田セン	一紙	(1通)
6/87	○〔明治廿四年愛知県下震災被害者救恤金四円寄附奇特二付賞状〕	明治26.12.20	愛知県知事時任為基 広島県 広島市京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/88	○銀婚御大典二付物品献納願			罫紙	(1通)
6/89	○〔御大典奉祝献納願御聴許二付告達〕 広島市役所罫紙使用	明治27.2.28	広島市長伴資健 京橋町保田八十吉殿	罫紙	(1通)
6/90	○献納品目録 広島市役所罫紙使用	明治27.3.1	広島県広島市字京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/91	○〔大婚二十五年御祝典二方方鐔献納賞状〕	明治27.3.9	宮内大臣土方久元 広島県 広島市字京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/92	○〔大婚二十五年御祝儀トシテ酒饌料金五拾銭下賜ノ旨伝達書〕	明治27.3.9	広島県広島市長伴資健 保田八十吉殿	一紙	(1通)
6/93	○〔明治廿六年幟町巡查派出所火見梯并二同町路傍便所修繕費トシテ金参円寄付奇特二付賞状〕	明治27.3.13	広島県知事鍋島幹 広島県安芸国 広島市字京橋町保田八十郎	一紙	(1通)
6/94	○〔明治二十六年岡山県下洪水被害窮民救恤金壹円施与奇特二付賞状〕	明治27.5.4	岡山県知事干坂高雅 広島県 広島市京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
6/95	野津道貫書翰(留守中挨拶及び九連城戦況二付) 封筒(表)「保田八十吉殿 親展」(裏)「揚州九連城野津道貫」あり	(明治27).10.31	野津道貫 保田八十吉殿	切継紙	(1通)
6/96	○〔広島米綿株式取引所理事長当撰覧〕	明治26.12.3		一紙	(1通)
7	褒状并公文 第弐 保田八十吉への褒状・公文・書翰等を卷子仕立てにしたもの	(明治27~33)		卷子	1巻 (62通)
7/1	○〔仁保島村ヨリ広島市へ通スル里道改修費へ金参拾貳円五拾八銭寄附奇特二付木盃壹個下賜状〕	明治27.11.22	広島県知事鍋島幹 広島県安芸国 広島市字京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
7/2	○当選状(日本赤十字社広島支部常議員)	明治27.12.1	日本赤十字社広島支部長鍋島幹 正社員保田八十吉殿	一紙	(1通)
7/3	○〔広島貯蓄銀行監査役当選状〕 「株式会社広島貯蓄銀行用紙」使用	明治27.12.30	株式会社広島貯蓄銀行設立事務所 保田八十吉殿	罫紙	(1通)
7/4	○〔牡丹一鉢献納御満足ノ段申入書〕 封筒(表)「保田八十吉殿」(裏)「大本営米田侍従」あり	明治28.4.20	侍従米田虎雄 保田八十吉殿	一紙	(1通)
7/5	○県会議員投票之義二付申出(県会議員当撰辞退願控)	明治12.2.	広島区京橋町保田八十吉 広島区々長中尾正名殿	一紙	(1通)
7/6	○〔古瓢壹個伝献二付御前へ差上候段申入書〕 封筒(表)「文事秘書官股野琢殿」(裏)「宮内大臣子爵土方久元」あり	明治28.4.24	宮内大臣土方久元 文事秘書官股野琢殿	一紙	(1通)
7/7	○〔応挙筆虎図巻伝献二付御前へ差上候段申入書〕 封筒(表)「陸軍中将岡沢精殿」(裏)「宮内大臣子爵土方久元」あり	明治28.4.24	宮内大臣土方久元 陸軍中将岡沢精殿	一紙	(1通)
7/8	○田中建三郎書翰(皇后陛下へ献上之品差上候処別封之通御沙汰有之)	(明治28).4.25	田中建三郎 保田八十吉殿	一紙	(1通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
7/9	○〔 原版所有者保田八十吉ヨリ 敵島八景絵半切・敵島七浦絵半切 皇后陛下へ伝献ニ付御手許へ差上候段 申入書〕 封筒(表)「内大臣秘書官田中建三郎殿」,(裏)「皇后宮大夫香川敬三」あり	明治28.4.25	皇后宮大夫香川敬三 内大臣 秘書官田中建三郎殿	一紙	(1通)
7/10	○〔 荒神町尋常小学校敷地買入費へトシテ金拾円寄附奇特ニ付木盃壹個下賜状〕	明治28.6.11	広島県知事鍋島幹 広島県安芸国広島市字京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
7/11	○〔 広島県尚武会へ一時金五円寄贈ニ付会員証書〕	明治28.7.30	広島県尚武会長鍋島幹 保田八十吉君	一紙	(1通)
7/12	○〔 即刻参営ノ旨通知〕	明治28.4.25	大本営供奉調度局 保田八十吉殿	一紙	(1通)
7/13	○ 謝状(臨時招魂祭へ金百円寄附感謝ニ付神盃壹組贈進状)	明治28.11.30	広島臨時招魂祭委員長大島義昌 保田八十吉殿	一紙	(1通)
7/14	○〔 広島尋常中学校拡張費へ金拾五円寄附奇特ニ付木盃壹個下賜状〕	明治28.10.30	広島県知事鍋島幹 広島県安芸国広島市字京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
7/15	○ 辞退届(広島市長候補者辞退)	明治29.4.	広島市字京橋町保田八十吉 広島市長佐藤正殿	一紙	(1通)
7/16	○〔 征清戦役二際シ救護業務ニ尽瘁セラレタル慰勞ノ為メ銀製赤十字章等贈与状〕	明治29.6.10	日本赤十字社長佐野常民 保田八十吉氏	一紙	(1通)
7/17	○〔 京都市盲啞院資金トシテ金壹円差出奇特ニ付賞状〕	明治29.6.3	京都府知事山田信道 広島県広島市京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
7/18	○〔 広島賛同協会事業大成シ解散ニ臨ミ評議員へ紀念木杯一個贈呈状〕	明治29.6.7	広島賛同協会会頭鍋島幹外2名 評議員保田八十吉殿	一紙	(1通)
7/19	○〔 梨本宮用邸取設尽力ニ付銀盃一個・白縮緬一匹・金五拾円下賜状〕	明治29.6.	梨本宮家令 評議員保田八十吉殿	一紙	(1通)
7/20	○ 記(保田八十吉・保田芳太郎・榎崎久松へ下賜品目録)			一紙	(1通)
7/21	○〔 広島市長候補者選挙会ノ結果次点ニ付諾否ノ旨内報方依頼書〕 「広島県」罫紙使用,封筒(表)「保田八十吉殿 至急 親展」,(裏)「関書記官 廿九年 広島県用」あり	明治29.3.30	関広島県書記官 保田八十吉殿	罫紙	(1通)
7/22	○〔 日本赤十字社広島支部商議員囑託状〕	明治29.7.1	日本赤十字社長佐野常民 保田八十吉氏	一紙	(1通)
7/25	○ 取締役当撰通知書(株式会社広島銀行取締役当撰通知書) 「株式会社広島銀行」罫紙使用	明治29.12.31	広島第四十六国立銀行 保田八十吉殿	罫紙	(1通)
7/26	○〔 当行副頭取ニ推薦通知書〕 「株式会社広島貯蓄銀行用紙」使用	明治30.1.12	株式会社広島貯蓄銀行 取締役保田八十吉殿	罫紙	(1通)
7/27	○〔 当行取締役当選通知書〕 「株式会社広島貯蓄銀行用紙」使用	明治30.1.10	株式会社広島貯蓄銀行 保田八十吉殿	罫紙	(1通)
7/28	○〔 日本体育会広島支会委員囑託状〕	明治30.1.11	日本体育会広島支会長折田平内 保田八十吉殿	一紙	(1通)
7/29	○〔 軍艦富士艦内案内招待状〕	(明治30).5.15	柴山矢八 保田八十吉殿	葉書	(1通)
7/30	○〔 明治二十七八年戦役ノ際軍用品献納等ノ為メ金拾円寄附奇特ニ付木盃壹個下賜状〕	明治30.6.1	広島県知事浅田徳則 広島県安芸国広島市字京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
7/31	○〔 保田八十吉君豊国会委員囑託状〕	明治30.6.7	豊国会会長黒田長成	一紙	(1通)
7/32	○〔 本県農工銀行設立委員辞令〕	明治30.10.13	広島県知事浅田徳則 保田八十吉	一紙	(1通)
7/33	○〔 神苑会広島県広島市委員囑託状〕	明治31.3.15	神苑会総裁成仁親王 保田八十吉	一紙	(1通)
7/34	○〔 豊太閤墳墓修築及三百年祭事業へ尽力ニ付表彰状〕	明治31.3.25	豊国会会長黒田長成 保田八十吉殿	一紙	(1通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
7/35	○謝状(豊太閣墳墓修築及三百年祭事業へ金参拾五円寄附二付謝状)	明治31.5.1	豊国会会長黒田長成 保田八十吉殿	一紙	(1通)
7/36	○〔本県農工銀行設立委員解任書〕	明治31.6.23	広島県知事岩村高俊 広島県農工銀行設立委員保田八十吉	一紙	(1通)
7/37	○〔当聯隊浜田兵営へ移転留別会開催二付招待状〕	明治31.6.23	歩兵第廿一聯隊長竹中安太郎 保田八十吉殿	葉書	(1通)
7/38	○岩村高俊書翰(広島県農工銀行設立免許状下付二付挨拶)	明治31.6.23	広島県知事岩村高俊 保田八十吉殿	一紙	(1通)
7/39	○〔真宗崇徳教社々員総代当選状〕	明治31.7.20	真宗崇徳教社幹事観山綜貫 保田八十吉殿	一紙	(1通)
7/40	○〔軍用水道布設工事竣工,牛田村水源地二於テ通水式挙行二付案内状〕	明治31.8.16	臨時広島軍用水道布設部長高田善一 保田八十吉殿	葉書	(1通)
7/41	○竹中安太郎書翰(当聯隊浜田兵営へ移転二付,十有余年ノ用達ヲ感謝シ記念花瓶一個贈呈) 封筒(表)「保田八十吉殿」,(裏)「竹中安太郎」あり	明治31.7.18	歩兵第廿一聯隊長竹中安太郎 保田八十吉殿	葉書	(1通)
7/42	○〔陸軍々用水道布設工事落成祝宴会開催二付案内状〕	明治31.8.19	広島市長伴資健 水道委員保田八十吉殿	葉書	(1通)
7/43	○〔明治二十九年海嘯之際罹災者救恤トシテ金参拾円寄附奇特二付木杯壹個下賜状〕	明治31.9.1	巖手県知事末弘直方・宮城県知事千頭清臣・青森県知事河野主一郎 広島県安芸国広島市京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
7/44	○江木千之書翰(北清事変出征第五師団凱旋ノ際出雲外七箇国有志者聯合歓迎費へ金五円寄贈二付挨拶)	(明治31).9.9	出雲石見隠岐備中備後安芸周防長門八箇国有志総代江木千之 保田八十吉殿	一紙	(1通)
7/45	○真鍋斌書翰(明治廿七八年戦捷紀念挙行之砌清酒御寄贈二付感謝)	明治31.9.18	偕行社幹事長真鍋斌 保田八十吉殿	一紙	(1通)
7/46	○中野静衛書翰(鶴一羽御献上二付御満足思召候)	(明治31).10.5	(浅野家家令)中野静衛 保田八十吉殿・保田芳太郎殿	一紙	(1通)
7/47	○〔保田八十吉君和気会委員囑托状〕	明治31.12.3	会長鷹司熙通	一紙	(1通)
7/48	○〔本市水道事業尽力二付報酬金五円給与状〕	明治31.12.28	広島市役所 保田八十吉	一紙	(1通)
7/49	○謝状(本院へ金拾円御寄附二付)	明治32.6.1	日本美術院主幹橋本雅邦 保田八十吉殿	一紙	(1通)
7/50	○〔大日本武徳会広島県地方委員囑托状〕	明治32.7.15	大日本武徳会長北垣国道 保田八十吉氏	一紙	(1通)
7/51	○〔管下水災ノ際罹災者救恤ノ為メ金二円寄附奇特二付賞状〕	明治33.1.13	北海道庁長官園田安賢 広島県広島市京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
7/52	○〔大刀壱口保田八十吉伝献上二付御覧二供候段申進書〕	明治32.10.27	東宮大夫中山孝麿 広島県知事江木千之殿	一紙	(1通)
7/53	○江木千之書翰(皇太子殿下啓之節御配意御礼及下賜ノ煙草分配) 封筒(表)「保田八十吉様 親展」,(裏)「江木千之」あり	明治32.11.3	江木千之 保田八十吉様	一紙	(1通)
7/54	○〔大刀壱口御覧二供候段東宮大夫ヨリ申来候二付本書交附書〕	明治32.11.8	広島県知事江木千之 保田八十吉殿	一紙	(1通)
7/55	○口上(大須村所在当官官舎一棟下付)	明治33.5.1	梨本宮家今日高秩父 保田八十吉殿	一紙	(1通)
7/56	○〔皇太子殿下御慶典御奉祝ノ為メ銅虫火鉢献上願聴許二付通達〕 「広島県」罫紙使用	明治33.5.7	広島県知事江木千之 広島市京橋町保田八十吉	罫紙	(1通)
7/57	○証(銅虫火鉢対領収) 封筒(表)「広島県広島市京橋町保田八十吉殿」,(裏)「東宮職」あり	明治33.7.14	東宮職 保田八十吉殿	一紙	(1通)
7/57	○証(銅虫火鉢対領収) 封筒(表)「広島県広島市京橋町保田八十吉殿」,(裏)「東宮職」あり	明治33.7.14	東宮職 保田八十吉殿	一紙	(1通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
7/58	○[ 皇太子殿下御結婚奉祝ノ為メ銅虫火鉢壹対献納候段御満足被思召候 ] 封筒(表)「保田八十吉殿」(裏)「大本菅米田侍従」あり	明治33.5.10	東宮大夫中山孝曆 広島県広島市京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
7/59	○永田亀書翰(宇品港出帆,停泊中ノ大沽沖ノ状況等二付) 封筒(表)「広島市京橋筋保田八十吉殿 親展」,(裏)「清国大沽沖土佐丸 野戦砲兵第五聯隊本部 陸軍砲兵大佐永田亀」あり	(明治33)7.14	大沽沖土佐丸二於テ永田亀 保田八十吉殿	一紙	(1通)
7/60	○真鍋書翰(珍重ナル品御贈呈御礼) 封筒(表)「大日本広島市 保田八十吉殿 平信親展」,(裏)「清国北京滞陣 真鍋少将」あり	(明治33)9.10	於北京真鍋 保田老台	一紙	(1通)
7/61	○山口素臣書翰(師団司令部八仮約条等も相定り候迄八滞在ノ都合,李鴻章等も談判開始ヲ急キ居候) 封筒(表)「大日本広島京橋通り 山口素臣」あり	(明治33)10.31	於北京素臣 保田大兄	一紙	(1通)
7/62	○粟屋幹書翰(当隊清国出張中將校留守家族へ庇護ノ段謝意トシテ別紙目録之通り進呈) 封筒(表)「保田八十吉殿」,(裏)「歩兵第十一聯隊將校団長栗原幹」あり	(明治33)11.19	歩兵第十一聯隊將校団長栗原幹 保田八十吉殿	一紙	(1通)
8	褒状并公文 第參 保田八十吉への褒状・公文・書翰等を卷子仕立てにしたもの、題箋なし(複製資料の写真には題箋が写っている)	(明治33~大正2)		卷子	1巻
8/1	○江木千之書翰(正七位叙位ノ祝意ヲ表スル為メ別紙目録ノ品贈呈) 封筒(表)「保田八十吉殿」,(裏)「江木千之」あり	明治33.12.21	江木千之 保田八十吉様殿	一紙	(1通)
8/2	○[ 大日本仏教慈善会財団設立評議員囑托書 ] 「本願寺」罫紙使用	明治33.12.21	(本願寺執行所印) 保田八十吉	罫紙	(1通)
8/3	○[ 明治三十三年三篠村石橋架橋費トシテ金壹円寄付奇特二付賞状 ]	明治34.4.2	広島県知事江木千之 広島県安芸国広島市京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
8/4	○[ 明治三十三年暴風海嘯之際罹災者救助ノ為メ金百円寄附奇特二付木盃組下賜状 ]	明治34.5.28	広島県知事江木千之 保田八十吉	一紙	(1通)
8/5	○[ 大日本仏教慈善会財団地方取締囑托書 ]	明治34.12.19	大日本仏教慈善会財団事務所 保田八十吉	一紙	(1通)
8/6	○[ 本市会ニ於テ市長候補者ニ選挙相成候ニ付履歴書提出方照会 ] 「広島市役所」罫紙使用	明治35.3.24	広島市長伴資健 保田八十吉殿	罫紙	(1通)
8/7	○謝状(本会主旨ニ賛同シ金八円寄附ニ付)	明治35.5.1	芸陽在郷軍人会長森祇敬 保田八十吉殿	一紙	(1通)
8/8	○謝状(本会発会式挙行ニ際シ湯茶寄贈ニ付)	明治35.5.1	芸陽在郷軍人会 保田八十吉殿	一紙	(1通)
8/9	○推薦状(本会特別会員)	明治35.4.20	芸陽在郷軍人会長森祇敬 保田八十吉殿	一紙	(1通)
8/10	○[ 玖珂郡本郷村字仲田追原火災之際罹災者救助ノ為メ金壹円義捐奇特二付賞状 ]	明治35.6.3	山口県知事武田千代三郎 広島県広島市京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
8/11	○[ 明治三十五年県下暴風雨ノ際被害者救助トシテ金五円寄附奇特二付賞状 ]	明治36.5.12	広島県知事江木千之 広島県安芸国広島市京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
8/12	○[ 日本赤十字社広島支部常議員当選状 ]	明治26.10.2	日本赤十字社広島支部長鍋島幹 正社員保田八十吉殿	一紙	(1通)
8/13	○[ 歡旨ヲ奉シ保田八十吉殿姫路開催ノ宴会へ招待状写 ]	明治36.11.7	(宮内大臣)	一紙	(1通)
8/14	○拜謝状(風琴壹個寄贈ニ付)	明治28.9.15	修道会 保田八十吉殿・保田芳太郎殿	一紙	(1通)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
8/15	○〔明治三十三年広島県暴風海嘯ノ節罹災者へ金七百参拾貳円余賑恤奇特ニ付銀杯壹箇下賜状〕	明治34.12.7	賞勳局総裁大給恒 保田八十吉	一紙	(1通)
8/16	○〔大日本武徳会広島支部常議員囑托書〕	明治35.8.30	大日本武徳会総裁彰仁親王 保田八十吉氏	一紙	(1通)
8/17	○〔広島別院勘定方取締依頼状〕 「本願寺」罫紙使用	明治35.11.22	(本願寺)執行所 保田八十吉	一紙	(1通)
8/18	○〔日本赤十字社広島支部商議員囑托書〕	明治35.12.26	日本赤十字社副社長花房義質 保田八十吉氏	一紙	(1通)
8/19	○〔日本赤十字社特別社員証〕	明治36.11.9	日本赤十字社総裁載仁親王・日本赤十字社長松方正義 保田八十吉氏	一紙	(1通)
8/20	○〔日本海員掖済会広島支部特別委員囑托書〕	明治37.4.6	日本海員掖済会長赤松則良 保田八十吉殿	一紙	(1通)
8/21	○〔日本海員掖済会広島支部特別委員囑托書承諾用紙提出ニ付通知〕	明治37.4.18	広島市役所内日本海員掖済会 広島市部委員長伴資健 保田八十吉殿	罫紙	(1通)
8/22	○褒賞状(当隊創立以来用達業務従事ノ勞ヲ謝シ銀盃壹個贈与)	明治37.4.28	野戦砲兵第五聯隊将校団長永田亀 広島市京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
8/23	○〔保田八十吉君日本海員掖済会特別海員証〕	明治37.11.5	日本海員掖済会総裁威仁親王・日本海員掖済会長赤松則良	一紙	(1通)
8/24	○伴資健書翰(広島軍人待遇会評議員選定ニ付承認方依頼) 「広島軍人待遇会用紙」使用	明治37.11.26	広島軍人待遇会長伴資健 保田八十吉殿	罫紙	(1通)
8/25	○〔出征軍人留守家族中ノ貧困者へ古着数点惠贈ニ付感謝状〕	明治38.2.	広島軍人待遇会 京橋町保田八十吉殿	一紙	(1通)
8/26	○〔明治三十七八年戦役ノ際広島陸軍病院へ患者用品寄附奇特ニ付賞状〕	明治38.7.1	広島県知事山田春三 広島県 広島市京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
8/27	○忠勇顕彰会書翰(本会地方委員就任ニ付照会) 「広島軍人待遇会用紙」使用	明治38.8.22	忠勇顕彰会 保田八十吉殿	罫紙	(1通)
8/28	○〔明治三十六年県下強雨山岳崩潰ノ際被害者救助トシテ金五円寄附奇特ニ付賞状〕	明治38.8.28	広島県知事山田春三 保田八十吉	一紙	(1通)
8/29	○〔広島税務監督局管内広島税務署所轄内相続税審査委員辞令〕 「大蔵省」罫紙使用	明治38.9.5	大蔵省 保田八十吉	罫紙	(1通)
8/30	○〔本会行動費へ金貳百円寄贈ニ付感謝状〕	明治38.10.4	広島軍人待遇会長伴資健 保田八十吉殿	一紙	(1通)
8/31	○〔凱旋軍隊歓迎送委員囑托書〕	明治38.10.21	広島軍人待遇会長伴資健 保田八十吉殿	一紙	(1通)
8/32	○〔明治三十七年別格官幣社藤島神社敷地移転事業費中へ金壹円寄附奇特ニ付賞状〕	明治38.11.1	福井県知事阪本鈺之助 広島県 広島市京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
8/33	○〔帝国義勇艦隊建設義金醸出ニ付特別海員証〕	明治38.11.23	帝国海事協会総裁威仁親王 保田八十吉氏	一紙	(1通)
8/34	○〔日本海員掖済会呉支部普通海員養成所建設金貳拾円寄附ニ付感謝状〕	明治38.12.6	日本海員掖済会呉支部長有馬新一 保田八十吉殿	一紙	(1通)
8/35	○〔明治三十七八年戦役ノ際広島陸軍病院へ患者用品寄附奇特ニ付木杯壹箇下賜状〕	明治39.2.10	広島県知事山田春三 広島県 広島市京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
8/36	○〔広島別格別院大修繕委員囑托書〕 「本願寺」罫紙使用	明治39.2.12	(本願寺執行所印) 保田八十吉	罫紙	(1通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
8/37	○〔日本赤十字社広島支部商議員囑託書〕	明治39.3.26	日本赤十字社長松方正義 保田八十吉氏	一紙	(1通)
8/38	○〔大修繕寄附勧誘係囑託書〕	明治39.4.5	本願寺広島別格別院大修繕総裁積徳院 勘定取締保田八十吉	一紙	(1通)
8/39	○〔明治三十七八年戦役ノ際恤兵費へ金拾円寄附奇特ニ付木杯壺箇下賜状〕	明治39.5.20	広島県知事山田春三 広島県広島市京橋町保田大吉	一紙	(1通)
8/40	○〔明治三十七八年戦役本社救護事業実施ニ際シ尽力ニ付銀盃一個贈与状〕	明治39.6.1	日本赤十字社長松方正義 広島支部商議員保田八十吉氏	一紙	(1通)
8/41	○〔明治三十七八年戦役ニ際シ社業上尽力ニ付謝状〕	明治39.7.30	日本赤十字社広島支部長山田春三 広島支部商議員保田八十八氏	一紙	(1通)
8/42	○安芸郡七村長書翰(客年七村水害罹災民に対し義捐金募集を發起,巨額の金品を恵与せられたる段感謝)	明治41.1.9	安芸郡奥海田村長三戸鼎造外同郡6村長 保田八十吉殿	一紙	(1通)
8/43	○〔明治三十七八年役ノ際会務ニ勩励,本会終局ニ際シ記念品贈呈状〕	明治41.2.1	広島軍人待遇会長伴資健 広島市軍人待遇会常務評議員保田八十吉殿	一紙	(1通)
8/44	○功労章帯用者注意書 全文印刷	明治40.12.	帝国海事協会	一紙	(1通)
8/45	○〔帝国義勇艦隊建設ニ関スル功労ニ付七等功労章授与状〕	明治41.3.1	帝国海事協会総裁威仁親王 保田八十吉	一紙	(1通)
8/46	○功労章規程 全文印刷			一紙	(1通)
8/47	○〔帝国実業協会幹事囑託書〕	明治41.3.6	帝国実業協会名誉総裁徳久恒範 保田八十吉氏	一紙	(1通)
8/48	○〔日本大博覧会評議員辞令写〕	明治41.6.6	内閣 保田八十吉氏	一紙	(1通)
8/49	○矢島為三郎書翰(当隊福山転営ノ為メ清酒参樽寄贈御礼)	明治41.7.11	歩兵第四十一聯隊長矢島為三郎 保田八十吉殿	一紙	(1通)
8/50	○〔明治三十七八年戦役ノ際恤兵等百般ノ後援の事業及ヒ軍隊凱旋歓迎ニ尽力セラルルニヨリ表彰状〕	明治40.3.31	広島市参事会広島市長高束康一 保田八十吉	一紙	(1通)
8/51	○〔広島税務監督局管内広島税務署所轄内相統税審査委員辞令〕 「大蔵省」罫紙使用	明治44.9.28	大蔵省 保田八十吉	罫紙	(1通)
8/52	○牧野伸顕書翰(日本大博覧会中止ニ付挨拶)	明治44.11.30	農商務大臣牧野伸顕 日本大博覧会評議員保田八十吉殿	一紙	(1通)
8/53	○〔恩賜財団済生会評議員囑託書〕	明治44.12.7	恩賜財団済生会総裁貞愛親王 保田八十吉氏	一紙	(1通)
8/54	○〔明治四十三年水害ノ際東京府外一府二十八県罹災者救恤トシテ金七拾円寄附奇特ニ付木杯壺箇下賜状〕	明治44.12.15	東京府知事阿部浩 広島市京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
8/55	○〔本会出品奨励委員囑託書〕	明治44.12.15	第 回日本産業博覧会会長橋本善右衛門 保田八十吉殿	一紙	(1通)
8/56	○桂太郎書翰(恩賜財団済生会晩餐会招待案内状)	明治45.4.17	恩賜財団済生会会長桂太郎 保田八十吉殿	一紙	(1通)
8/57	○〔鉄道建設中相談役囑託書〕	明治45.5.1	芸備鉄道株式会社 保田八十吉殿	一紙	(1通)
8/58	○〔段原村火災ノ際罹災者救助トシテ金参拾円寄附奇特ニ付木杯壺箇下賜状〕	明治42.2.25	広島県知事宗像政 保田八十吉	一紙	(1通)
8/59	○牧野伸顕書翰(三月三十一日限り日本大博覧会官制廃止ニ付挨拶)	(明治45)4.11	農商務大臣牧野伸顕 保田八十吉殿	一紙	(1通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
8/60	○〔播磨屋町小学校備品購入費トシテ金拾円寄附奇特ニ付木杯壺個下賜状〕	明治44.12.20	広島県知事宗像政 保田八十吉	一紙	(1通)
8/61	○〔日本赤十字社広島支部商議員囑託書〕	明治45.3.16	日本赤十字社長松方正義 保田八十吉氏	一紙	(1通)
8/62	○大津麟平書翰(観光ノ際御礼)	大正元.11.9	台湾総督府蕃務本署長大津麟平 保田八十吉殿	一紙	(1通)
8/63	○〔明治二十七八年戦役ノ際火災警備等ノ事業及ヒ軍旅凱旋歓迎ニ尽力セラルニヨリ褒賞状〕	明治31.9.21	広島市参事会広島市長伴資健 保田八十吉	一紙	(1通)
8/64	○〔京橋町防火栓装置一式寄附奇特ニ付木杯壺個下賜状〕	大正元.12.2	広島県知事 中村純九郎 保田八十吉	一紙	(1通)
8/65	○〔市制施行以来公共事業ヘノ功勞ニ付表彰状〕	大正元.12.27	広島市長長屋謙二 保田八十吉君	一紙	(1通)
8/65	○〔旧御便殿ヘ無地金屏風壺双等奉納願出ニ付許可書〕 「広島市役所」罫紙使用	大正元.12.19	広島市長長屋謙二 広島市京橋町保田八十吉殿	罫紙	(1通)
8/65	○〔旧御便殿ヘ寄附ノ無地金屏風壺双等受領書〕 「広島市役所」罫紙使用	大正元.12.23	広島市長長屋謙二 広島市京橋町保田八十吉殿	罫紙	(1通)
8/66	○〔特別会員保田八十吉君ヘ終身会員章贈呈書〕	大正2.4.21	日本海員掖済会	一紙	(1通)
8/67	○伴資健書翰(宇品築港竣工式ニ小松宮彰仁親王御代臨ノ節御調度御配意ニ付紀念品贈呈)	明治23.5.5	伴資健 保田八十吉殿	一紙	(1通)
9	〔褒状并公文 第四〕 保田八十吉ヘノ褒状・公文等を卷子仕立てにしたもの、題箋なし	(明治37~大正5)		卷子	1巻
9/1	○〔即刻参邸ニ付通知〕	.6.4	梨本宮家従 保田八十吉殿	一紙	(1通)
9/2	○目録(銀盃壺寄贈)	明治37.4.28	野戦砲兵第五聯隊将校団長永田亀 保田八十吉殿	一紙	(1通)
9/3	○有地品之丞書翰(東京湾ニ於テ觀艦式挙行ニ付横浜港碇泊ノ伊予丸ヘ乗船案内状)	明治38.10.18	帝国海事会協理 長有地品之丞 保田八十吉殿	一紙	(1通)
9/4	○和田音五郎書翰(一月中下旬に後備聯隊モ凱旋ト内定)	.10.23	歩兵第十一聯隊補充大隊長陸軍歩兵中佐和田音五郎 保田八十吉殿	一紙	(1通)
9/5	○〔明治三十七八年戦役ノ際広島軍人待遇会ヘ金貳百円等寄附奇特ニ付木杯壺組下賜状〕	明治40.1.25	広島県知事宗像政 広島県広島市京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
9/6	○〔同仁会広島支部委員囑託書〕	明治41.4.8	同仁会々長大隈重信 保田八十吉氏	一紙	(1通)
9/7	○目録(木杯壺組等贈呈)	明治41.7.11	芸備協会 保田八十吉殿	一紙	(1通)
9/8	○謝状(芸備協会奨学金トシテ金五百四拾円寄贈ニ付)	明治41.7.11	芸備協会理事長 保田八十吉殿	一紙	(1通)
9/9	○〔大正元年旧御便殿備品トシテ金屏風壺双等寄附奇特ニ付銀杯壺箇下賜状〕	大正2.5.16	賞勲局総裁正親町実正 保田八十吉	一紙	(1通)
9/10	○〔竹屋尋常小学校教授用トシテ額縁貳拾個共同ニテ寄附奇特ニ付木杯壺個下賜状〕	大正3.7.10	広島県知事寺田祐之 保田八十吉	一紙	(1通)
9/11	○〔広島税務監督局管内広島税務署所轄内相続税審査委員辞令〕	大正3.9.28	大蔵省 保田八十吉	一紙	(1通)
9/12	○〔別紙伝達状〕 「広島税務監督局管内税務署」罫紙使用	大正3.10.8	広島税務署 京橋町保田八十吉	罫紙	(1通)
9/13	○〔広島県物産共進会評議員囑託書〕 「広島県」罫紙使用	大正3.11.14	広島県 保田八十吉	罫紙	(1通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
9/14	○〔広島市青年武道会相談役囑託書〕	大正 4.2.24	広島市青年武道会長武岡充忠 名誉会員保田八十吉	一紙	(1通)
9/15	○〔広島市青年武道会名誉会員推薦状〕	大正 4.2.24	広島市青年武道会 保田八十吉氏	一紙	(1通)
9/16	○〔広島県教育品展覧会書画陳列委員囑託書〕	大正 4.3.8	広島県教育品展覧会長西村保吉 保田八十吉君	罫紙	(1通)
9/17	○〔日本赤十字社広島支部商議員囑託書〕	大正 4.3.16	日本赤十字社長花房義質 保田八十吉氏	一紙	(1通)
9/18	○〔明治神宮奉賛会評議員囑託書〕	大正 4.10.1	明治神宮奉賛会総裁貞愛親王 保田八十吉氏	一紙	(1通)
9/19	○〔県立広島高等女学校ニテ挙行ノ大饗第一日二饗饌賜リ候ニ付申入書写及広島県注意書〕	大正 4.11.1	宮内大臣波多野敬直 保田八十吉殿	一紙	(1通)
9/20	○ 目録 (銀盃組)			一紙	(1通)
9/21	○〔広島市下水道敷設尽力ニ付謝状〕	大正 4.11.4	広島市長吉村平造 元広島市臨時下水道改良方法調査委員 保田八十吉殿	一紙	(1通)
9/22	○〔明治神宮奉賛会広島支部評議員囑託書〕	大正 5.1.6	明治神宮奉賛会会長徳川家達 保田八十吉殿	一紙	(1通)
9/23	○〔明治神宮奉賛会広島支部広島市委員囑託書〕	大正 5.1.15	明治神宮奉賛会会長徳川家達 保田八十吉殿	一紙	(1通)
9/24	○馬場三郎書翰写 kakko明治神宮奉賛会総裁貞愛親王殿下ヨリ新宿御苑ニ於テ粗饌進ゼラレ候ニ付案内	大正 4.10.1	伏見宮附別当馬場三郎 保田八十吉殿	一紙	(1通)
9/25	○〔平安遷都千百年紀年祭協賛会へ賛助金貳拾円寄附ニ付紀年白銅牌贈呈状写〕	明治28.4.10	平安遷都千百年紀年祭協賛会総裁彰仁親王・同会会長近衛篤磨 保田八十吉氏	一紙	(1通)
9/26	○〔保田八十吉氏社資幫助ニ付有功章贈与状写〕	大正 3.10.12	日本赤十字社総裁載仁親王・同社長花房義質	一紙	(1通)
9/27	○〔日本赤十字社特別社員へ明治四十一年皇后陛下ヨリ下賜候御歌頒呈ニ付通知〕 「日本赤十字社」罫紙へ印刷	大正	日本赤十字社長花房義質 佩 有功章特別社員	罫紙	(1通)
9/28	○〔大日本武徳会広島支部拡張ノ為メ金壹百円寄贈ニ付謝状〕	大正 5.4.1	大日本武徳会広島支部長寺田祐之 保田八十吉殿	一紙	(1通)
9/29	○ 貴族院多額納税者議員互選名簿送付書 県第八二四号	大正 5.5.22	広島県知事馬淵鋭太郎 保田八十吉殿	一紙	(1通)
9/30	○〔大日本武徳会広島支部へ金百円寄贈ニ付三等有功章授与状〕	大正 5.6.13	大日本武徳会総裁貞愛親王・同会副会長三好成行 保田八十吉氏	一紙	(1通)
9/31	○〔保田八十吉氏大日本武徳会特別会員認定書〕	大正 5.6.13	大日本武徳会副会長三好成行	一紙	(1通)
9/32	○ 感謝状 (出獄人保護事業ニ賛同セラレ本会へ金九拾円寄附ニ付)	大正 5.6.15	社団法人広島県聯合保護会総裁馬淵鋭太郎 保田八十吉殿	一紙	(1通)
9/33	○ 大礼記念章之証 (写)	大正 4.11.10	賞勲局総裁正親町実正・同局書記官藤井善言 保田八十吉	一紙	(1通)
9/34	○ 大礼記念章ヲ賜ハリタル者届出心得 (写)		賞勲局	一紙	(1通)
9/35	○〔大正二年北海道外六県凶作及同三年鹿児島県爆発ノ際罹災窮民へ金参拾円寄附奇特ニ付木杯壹個下賜状〕	大正 5.2.10	北海道庁長官俵孫一 広島市京橋町保田八十吉	一紙	(1通)
9/36	○ 寄附受納ノ件 (旧御便殿境内及其附近へ植付寄附受納) 「広島市役所」罫紙使用	大正 5.12.18	広島市長吉村平造 保田八十吉殿	罫紙	(1通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
9/37	○通達(福岡市ニ於テ開催セル陸軍特別大演習後ノ宴会出席有無回答ニ付) 「広島県」罫紙使用	大正 5.11.2	広島県知事馬淵鋭太郎 黄綬 章受領者保田八十吉殿	罫紙	(1通)
9/38	○宴会場略図(福岡市)	(大正 5.11.2)		一紙	(1通)
10	土方久文外3名連署書翰(国光規模拡張之趣意御協賛被成下御協力御願)	明治25.1.13	保田八十吉殿	一紙	1通
11	吉田町承応絵図 38×136cm,裏に「吉田町承応絵図 明治四十四年九月 市役所より借受写し置」とあり	(承応 3.10.8・明治44.9写)	年寄与右衛門 <sup>㊦</sup> 沖左平太様・寺西与三兵衛様	絵図	1枚
12	広島屋形町旧絵図 9枚入,方眼紙を包として使用	(安政年間)		包	1包 (9枚)
12/1	○小性町〔絵図〕 39×52cm,彩色,裏に「九枚ノ内」とあり	(安政年間)		絵図	(1枚)
12/2	○八丁馬場辺〔絵図〕 39×52cm,彩色,裏に「此写取名前之義 安政年間ト被存候 九枚ノ内」とあり	(安政年間)		絵図	(1枚)
12/3	○鷹匠町〔絵図〕 39×52cm,彩色,裏に「九枚ノ内」とあり	(安政年間)		絵図	(1枚)
12/4	○水主町〔絵図〕 39×52cm,彩色,裏に「九枚ノ内」とあり	(安政年間)		絵図	(1枚)
12/5	○白島辺〔絵図〕 39×52cm,彩色,裏に「九枚ノ内」とあり	(安政年間)		絵図	(1枚)
12/6	○御泉水辺〔絵図〕 39×52cm,彩色,裏に「九枚ノ内」とあり	(安政年間)		絵図	(1枚)
12/7	○六丁目〔絵図〕 39×52cm,彩色,裏に「九枚ノ内」とあり	(安政年間)		絵図	(1枚)
12/8	○戎善寺中ノ町辺〔絵図〕 39×52cm,彩色,裏に「九枚ノ内」とあり	(安政年間)		絵図	(1枚)
12/9	○柳町方竹屋町辺迄〔絵図〕 39×52cm,彩色,裏に「広島旧屋形町湖古図写置 九枚ノ内」とあり	(安政年間)		絵図	(1枚)
13	〔寛永年間広島城下絵図〕 271×225cm,彩色,裏に「元和五年御入国之砌広島御城廻之絵図 壹枚」・「御城廻之図」・「基町井関氏」とあり,「五十三」と朱書あり,「保田 <sup>㊦</sup> 」の貼紙あり	(寛永年間)		絵図	1枚
14	諸会社払込金受領証綴	(明治39~昭和18)		綴	1綴
15	契約書并重要書類綴	大正 8.1 ~(昭和19)		綴	1綴
16	〔保田家写真アルバム〕 アルバムの最初の頁に「昭和五庚午年初夏為遷居紀念写之 宗伴」とあり,保田家の家族写真のアルバム	(昭和 5)		アルバム	1冊
17	〔保田家家族写真外〕 21枚袋入,袋は「林弘写真場 広島市立町(八丁堀交差点西一丁)」のもの			写真	1袋 (21枚)
18	〔保田翁喜寿祝和歌掛軸写真・菓子折写真〕 和歌掛軸の写真1枚(保田翁の喜寿を祝ひて 従一位長勲)とお祝いの菓子折りの写真2枚入,包は「広島市立町(出電車通) 林弘写真場」のもの			写真	1包 (3枚)
19	〔女性集合写真(Friendly Club外)〕 2枚入,1枚は広島県庁前で撮影したもの			写真	1包 (2枚)
20	〔結婚式記念写真〕 写真の台紙に「ひろしま 津村写場」とあり			写真	1枚
21	〔お祝の鮮鯛2匹と目録の写真〕 写っている目録に「金杯一個 鮮鯛一折」とあり,			写真	1枚
22	〔七宝焼花瓶2個の写真〕 花瓶の箱に「拝領 七宝焼花瓶 壹封之内」とあり,袋入,袋は「銀の星写場 広島市電話交換局前」のもの			写真	1枚